



新機能および変更された機能に関する情報

この章では、Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS プログラマビリティ ガイド、リリース 7.x に記載されている、新機能および変更された機能に関するリリース固有の情報について説明します。

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(1 ページ\)](#)

新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、[Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS プログラマビリティ ガイドリリース 7.x (Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Programmability Guide, Release 7.x)] に記載されている新機能および変更機能を要約したものです。それぞれの説明が記載されている箇所も併記されています。

表 1: 新機能および変更された機能

特長	説明	変更が行われたリリース	参照先
モデル駆動型テレメトリ	エンコーディング、コレクション、トランスポート、およびストリーミングに関する詳細を表示するように show telemetry control database sensor-paths 拡張されました。	7.0 (3) I7 (7)	テレメトリの構成と統計情報の表示
NETCONF の CLI コマンド出力	NX-OS CLI コマンドのネットワーク設定フォーマットへの変換のサポートが文書化されています。	7.0(3)I7(5)	CLI コマンドのネットワーク構成フォーマットへの変換

特長	説明	変更が行われたリリース	参照先
XML 管理インターフェイス	XML ベースのネットワーク構成プロトコル (NETCONF) を介した XML ベースのツールを使用した Cisco Nexus 9000 スイッチの管理のサポートが文書化されています。	7.0(3)I7(5)	XML 管理インターフェイス
NX-API 入力要求フォーマットとしての JSON-RPC	JSON-RPC が受け入れられる NX-API 入力要求フォーマットになりました。	7.0(3)I7(4)	NX-API CLI
ロールバック NX-API リクエスト要素	ロールバック NX-API 要求要素は、XML、JSON、および JSON-RPC 入力要求フォーマットで使用できるようになりました。	7.0(3)I7(4)	NX-API CLI
パッチ RPM のサポート	パッチ RPM を管理するための手順を追加しました。	7.0(3)I7(3)	bash
UDP テレメトリ	UDP テレメトリに関する情報を追加しました。	7.0(3)I7(3)	モデル駆動型テレメトリ
Nexus 9508 Bash シェルのサポート	NX-OS 7.0 (3) F3 (1) を実行している Nexus 9508 のサポートが追加されました。	7.0(3)F3(1)	注意事項と制約事項
Nexus 9508 Python API のサポート	NX-OS 7.0 (3) F3 (1) を実行している Nexus 9508 のサポートが追加されました。	7.0(3)F3(1)	注意事項と制約事項
Nexus 9508 iPXE のサポート	NX-OS 7.0 (3) F3 (1) を実行している Nexus 9508 のサポートが追加されました。	7.0(3)F3(1)	注意事項と制約事項
Nexus 9508 カーネルスタックのサポート	NX-OS 7.0 (3) F3 (1) を実行している Nexus 9508 のサポートが追加されました。	7.0(3)F3(1)	Guidelines and Limitations

特長	説明	変更が行われたリリース	参照先
サードパーティ製アプリケーションをサポートする Nexus 9508 RPM	NX-OS 7.0 (3) F3 (1) を実行している Nexus 9508 のサポートが追加されました。	7.0(3)F3(1)	サードパーティ製アプリケーションについて
Nexus 9508 Puppet エージェントのサポート	NX-OS 7.0 (3) F3 (1) を実行している Nexus 9508 のサポートが追加されました。	7.0(3)F3(1)	Puppet Agent
Nexus 9508 Chef クライアントのサポート	NX-OS 7.0 (3) F3 (1) を実行している Nexus 9508 のサポートが追加されました。	7.0(3)F3(1)	Cisco NX-OS と一緒にシェフクライアントを使用
Nexus 9508 NX-API REST サポート	NX-OS 7.0 (3) F3 (1) を実行している Nexus 9508 のサポートが追加されました。	7.0(3)F3(1)	注意事項と制約事項
Nexus 9508 ゲストシェルのサポート	NX-OS 7.0 (3) F3 (1) を実行している Nexus 9508 のサポートが追加されました。	7.0(3)F3(1)	Guest Shell について
ゲストシェルの rootfs を複数のデバイスにエクスポートします。	特定のゲストシェルの rootfs をエクスポートし、複数のデバイスに展開するサポート。	7.0(3)I7(1)	ゲストシェルの複製
UDP およびセキュア UDP (DTLS) プロトコルのテレメトリサポート	UDP およびセキュア UDP (DTLS) プロトコルのテレメトリサポートが追加されました	7.0(3)I7(1)	テレメトリコンポーネントとプロセス
自己署名 SSL 証明書による認証	自己署名 SSL 証明書による認証のサポートが追加されました。	7.0(3)I7(1)	テレメトリの注意事項と制約事項
テレメトリの VRF サポート	追加のテレメトリの VRF サポート。	7.0(3)I7(1)	テレメトリの注意事項と制約事項

特長	説明	変更が行われたリリース	参照先
gRPC トランスポートのテレメトリ圧縮	gRPC トランスポートのテレメトリ圧縮の追加サポート。	7.0(3)I7(1)	テレメトリの注意事項と制約事項
NX-OS プログラマブルインターフェイスコンポーネント RPM パッケージ	NX-OS イメージに含まれる NX-OS プログラマブルインターフェイスコンポーネント RPM パッケージ。	7.0(3)I7(1)	コンポーネント RPM パッケージについて
コンテナ トラッカー	Kubernetes API サーバーとの通信のサポートが追加されました。	7.0(3)I6(1)	コンテナ トラッカーのサポート
NX-SDK	ネイティブ NX-OS アプリケーションを作成するための SDK。	7.0(3)I6(1)	NX-SDK
NETCONF 候補	ユーザーは NETCONF 構成を変更し、それらの変更をいつコミットするかを選択できます。	7.0(3)I6(1)	NETCONF エージェント
ダイナミック ロガー	スイッチを再起動せずに構成を更新できるようになりました	7.0(3)I6(1)	ダイナミック ロガー
モデル駆動型テレメトリ	フローテレメトリは、以下をサポートします： <ul style="list-style-type: none"> • HTTP 経由の JSON • gRPC 経由の SSL/TLS 証明書 	7.0(3)I6(1)	モデル駆動型テレメトリ
NX-API 開発者サンドボックス	サンドボックスは、REST JSON ペイロードを同等の CLI コマンドに変換できます。	7.0(3)I6(1)	NX-API 開発者サンドボックス

特長	説明	変更が行われたリリース	参照先
ゲストシェル	<p>バージョンが 2.1 から 2.2 に更新されました。ゲストシェルには、次の機能が含まれるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザーアカウントには、スイッチへのログインに使用したものと同一名前が付けられます。 • dohost ユーティリティは、NX-API 接続を介してログインしているユーザー名を送信します。 • ネットワーク管理者は、ゲストシェル内で管理者以外のアカウントを構成できます。 	7.0(3)I5(2)	ゲストシェル
NX-API 開発者サンドボックス	サンドボックスは、YANG および NX-API REST ペイロードの生成をサポートするようになりました。	7.0(3)I5(1)	NX-API 開発者サンドボックス
モデル駆動型プログラマビリティ	データモデリングでは、プログラムを使用した標準ベースの方法でネットワークデバイスの構成を記述します。	7.0(3)I5(1)	モデル駆動型プログラマビリティ
モデル駆動型テレメトリ	ストリーミングネットワークデータのプッシュモデルを有効にし、モニタリングデータへのほぼリアルタイムのアクセスを提供します。	7.0(3)I5(1)	モデル駆動型テレメトリ

特長	説明	変更が行われたリリース	参照先
XML 管理インターフェイス	デバイスを構成するための XML 管理インターフェイスの追加の使用方法	7.0(3)I4(1)	以降のリリースでモデル駆動型プログラマビリティに置き換えられました。
Nexus アプリケーション開発	Cisco SDK は、Yocto 1.2 に基づく開発キットです。Cisco Nexus スイッチで実行するアプリケーションを構築するために必要なすべてのツールが含まれています。	7.0 (3) i2 (1)	
カーネル スタック	既知の Linux API を使用して、ルートと前面パネルポートを管理します。	7.0(3)I2(1)	カーネル スタック
ISO	ISO イメージは、Cisco Nexus スイッチ上でネイティブに実行するサードパーティ製アプリケーションを構築し、RPM パッケージ化するために必要なツール、ライブラリ、およびヘッダーを含むブート可能な WindRiver 5 環境です。	7.0 (3) i2 (1)	Nexus アプリケーション開発 : ISO
iPXE	オープンソースのネットワーク ブート ファームウェア。	7.0 (3) i2 (1)	iPXE
Chef	Chef は、Chef Software, Inc. によって開発されたオープンソース ソフトウェア パッケージです。	7.0 (3) i2 (1)	Cisco NX-OS と一緒にシェフクライアントを使用

特長	説明	変更が行われたリリース	参照先
Puppet	Puppet Labs によって開発された Puppet ソフトウェアパッケージは、構成設定などのデバイス状態を適用してサーバーやその他の技術情報を管理するためのオープンソースの自動化ツールセットです。	7.0 (3) i2 (1)	Puppet Agent
サードパーティ製アプリケーション	オープンソースアプリケーションを追加しました。	7.0 (3) i2 (1)	サードパーティ製アプリケーション
ゲストシェル	ゲストシェル 2.0 に更新	7.0 (3) i2 (1)	ゲストシェル
iPXE	オープンソースのネットワークブートファームウェア。	7.0 (3) i2 (1)	iPXE
カーネルスタック	既知の Linux API を使用して、ルートと前面パネルポートを管理します。	7.0 (3) i2 (1)	カーネルスタック
リリース 6.x 以降の更新なし		7.0(3)II(1)	

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。